

ようこそ千歳へ

ふれあいニュースでは、随時、千歳に移住してこられた方をご紹介しています。今回は、東京から移住されてきた毘沙門区の田中幸次さんからの寄稿文です。

令和元年に早期退職で東京杉並から夫婦二人で移住してまいりました。

なぜ千歳のような不便な田舎なのかと、周囲からよく尋ねられます。元々本物の日本文化がある京都を考えたのですが、杉並と変わらず都会だったので、お隣の長閑で景色の美しい千歳に致しました。

選んだときは分かるはずもないのですが、千歳の魅力は、その土地の豊か



さにあると感じております。土地が豊かであれば人々も豊かになります。

二年目を迎えて、ご近所の方々の豊かさを日々実感し、改めて良いところに導いていただいたと感謝しております。

移住は何の支障もなく、というよりは何か大きな流れに乗って千歳まで来たような感じが致します。毘沙門の見晴らしの良いところを紹介して頂いたし、元自宅もすぐに売却できたし、勤め先から今というテレワークで仕事を続けてくれと頼まれたし。

三年前に初めて千歳を見に来た時、出雲大神宮の前を通りかかったのが、何の気なしにお参り致しました。出雲さんはご縁を結ぶことにより人の願いを成就して下さるそうです。想像ですが、出雲さんのお導きで素敵な方々にご縁ができ、今があるような気が致します。

さて、私事で恐縮ですが、自宅で小さな和風カフェを始めようと準備中です。開業は早くても今年の秋になりそうです。田畑が一望できるこの場所が、千歳の皆さんの憩いの場となれば、また大好きな千歳の役に立てれば幸いです。

出雲大神宮の防災施設が完成

私たち故郷の大切な文化財である出雲大神宮では、昨年から本殿防災施設整備工事が進められており、この度完成の運びとなりました。

一月三十一日には、消防千歳分団と馬路分団の役員及び両町の自治会長などが岩田宮司と関係者から出雲大神宮の登録有形文化財の登録の経過や防災設備の内容について説明を受けました。

昨年、出雲大神宮にある十二社の建造物が国の登録有形文化財に登録されたのを契機に防災設備の充実を図られることになりました。本殿、拝殿付近に放水銃が五台、社務所付近も合わせて屋外消火栓が三台設置され、また、西鳥居付近に地下防火水槽とポンプ室が設けられたことにより、約五十分間の放水銃の使用が可能となっています。

三月一日には、試験放水があり、五台の放水銃から勢いよく放水され、水のカーテンが出来上がりました。このように出雲大神宮では地域の大切な財産を守っていく取り組みが進められています。



年末警戒について

千歳町自主防災会長 名倉 洋一

例年、年末に実施しております「年末警戒」は、新型コロナウイルス感染症対策のため十二月二十八日(月)の午後九時から十時までの一時間のみという非常に短時間で実施しました。

自主防災会の皆さんは、各区に分かれそれぞれの会議所、公民館にて警戒に当たっていただき、区内の巡回などを行い、町民の皆さんの安心安全を図るために防火に努めて頂いたところで

自治会前では、消防千歳分団の皆さんと共に、石野副市長様、奥野市議会副議長様、田中府議会議長様などの多数の皆さんから激励を受けました。振り返ってみますと、令和二年は千歳町内においては、台風や大雨等による大きな自然災害も無く、平穏に過ぎていった年でした。

しかし、災害はいつやってくるかわからないものでもあり、備えはしっかりとしておく必要があります。今一度、非常時の自主防災会の組織体制を確認し、有事には機能的に動けるようにしておきたいものです。





「牛松山バーティカル」  
って知っていますか？



皆さんはスカイランニングというスポーツをご存知ですか？

スカイランニングは、急峻な山岳や超高層ビルを駆け上がるスピードを競うスポーツです。

スカイランニングのうち、山頂までいかに早くたどり着けるかを争うバーティカルレースが丹波富士とも呼ばれている千歳町の牛松山で行われています。二〇一九年七月を皮切りにこれまでに四回開催されています。

第四回目は、昨年十二月十九日に参加者九〇名（うち小学生十五名）で開催されました。

和らぎの道の愛宕神社付近をスタートして牛松山の頂上を目指すルートで二本の合計タイムを競います。ノーマルコースとエキスパートコースがあり、

参加者は、時間差でスタートして山頂を目指して駆け上ります。

エキスパートコースには、世界チャンピオンの上田瑠偉選手(長野県出身)が参加され、何と一本目が十六分三秒、二本目が十六分一〇秒の圧巻のタイムでした。

そんな凄い選手もいますが、参加者はそれぞれの年齢や体力に合わせてレースを楽しんでおられます。

牛松山バーティカルは、これからも定期的に開催される予定で、今年は、七月と十二月に予定されています。五年の記念に体力に自身のある方は是非挑戦してみてください。

消防出初式

分団長 山田 憲一

一月十日(日)午前七時から旧一の宮グラウンドにおいて、自治会長や消防団理事を始め、多くのご来賓の出席のもと、団員三十四名が出動し、千歳分団消防出初式を挙行了しました。



出初式では、

まず、ご来賓の方々に団員の整列状況や服装、規律を確認いただき各班に配備されている車両やポンプ等の機械器具点検を行っていただきました。また、ご挨拶もいただき、お話の端々から消防団が地域において重要な役割を担っていることを再認識し、身の引き締まる思いでおります。



団員一同、令和三年が火災、災害のない善き一年であることを願い、防災活動により一層尽力することを誓いました。

皆さまも、防火防災に努めていただき、今後とも、消防千歳分団の活動にご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

【お詫びと訂正】

ふれあいニュース第四三号の「コウノトリ飛来」の記事で写真を提供いただいた方のお名前に誤りがありました。



正しくは「大西 等様」です。お詫びを申し上げ訂正させていただきます。

今後の予定

三月二十七日(土)～四月十一日(日)

・ 亀岡さくらウィーク

四月四日(日)

・ 消防団入退団式

四月十一日(日)

・ 千歳町戦没者慰霊祭

四月十八日(日)

・ 千歳町自治会館

耐震・内部改修工事完成式

・ 出雲大神宮鎮花祭

四月二十四日(土)

・ 愛宕神社鎮火祭